

# 消費税10%増税の区民への影響を問う 暮らしの大変さに寄り添った区政を…

11月28日から始まった荒川区議会11月会議は、来年度の予算編成にもかかる大事な議会です。日本共産党区議団の代表質問では、暮らし・福祉最優先の予算編成のための提案を行いました。ご紹介いたします。

## 消費税

「消費税は社会保障財源」「中長期で地域経済活性化」…？  
政府の言い分そのままの答弁では区民のくらしは守れません

来年10月予定の消費税10%増税について、現役内閣参与の藤井聡京大大学院教授は、「栄養失調で苦しむ子どもに絶食を強いるようなもの」、主婦連参与・前会長の山根さんは、大きな軽減対策が必要なら増税しなればよいと述べています。また増税に伴い実施されるインボイスについては、小規模事業者への負の影響が大きく日本商工会議所、日本税理士連合会などが反対しています。

区民の暮らしの実態、各界の中止を求める声の広がりを見て、も区として政府にキツパリ中止を求めざるべきと迫りました。

ところが、区は、「社会保障財源」だから「中長期で地域経済は活性化」などと政府の宣伝文句そのままの答弁、しかも複数税率、カード利用でポイント還元、低所得者へのプレミアムお買物券など2兆円規模の愚策を礼賛。これでは区民のくらしの実態は見え、区民にとって必要な施策の優先順位も違ってくるのではないのでしょうか。



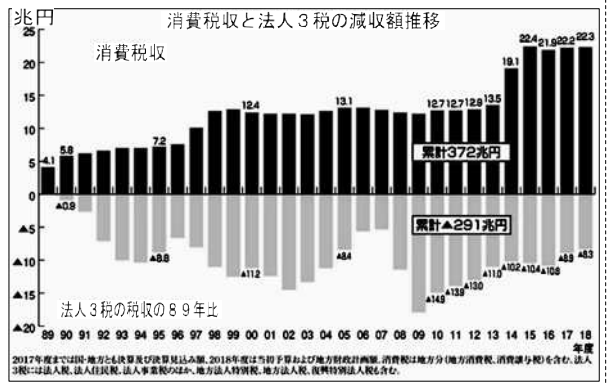
生活保護基準引き下げの中止へ不服審査請求運動  
憲法25条の生存権を守ることは国民全体の課題！

日本共産党荒川区議 横山 幸次

憲法は25条で「健康で文化的な最低限の生活を営む権利」を掲げ、その最低限度の生活を保障するために、生活保護法があります。安倍政権のもと生活保護の基準が、2013年から最大10%、2018年から最大5%と大幅基準引き下げが行われました。子育て世帯や単身高齢者世帯に最も大きな削減となっています。そのきっかけは、自民党の2012年衆院選公約「生活保護10%削減」。議員による「生活保護ハッシング」も取り組みです。



消費税導入から30年、消費税収のほとんどが法人税減税の穴埋めです



## 防災

地震から命を守るためにこれまでの支援では足りません…  
住宅の簡易耐震とリフォームなどの助成制度を提案

いつ起こってもおかしくない首都直下地震。しかし一番の対策である住宅耐震化は進んでいません。2017年度、区の耐震補強診断申請数27件、耐震補強設計・工事件数1件、建替え12件。その大きな理由に、資力のある方は、建て替えなど進んでいます。経済的理由や高齢などで住宅耐震化に踏み出せない方が多いのが実態です。こうした考えなら、決断すべきです。

耐震診断と評点について

評点  
命を守る 安全 より安全性が高い

0.1 0.4 0.7 1.0 1.3 1.6

低い 安全度の度合い 高い

兵庫県の本築住宅  
リフォーム耐震パック

財務省が狙う主な改悪メニュー	
医療	後期高齢者の窓口負担を2割に引き上げ
	風邪などの少額受診に追加負担
	かかりつけ医以外を受診すると追加負担
	金融資産に応じて高齢者を負担増
介護	湿布・保潔剤・漢方薬などの薬剤自己負担引き上げ
	国民健康保険への自治体財政からの繰り入れ廃止
	医療費抑制のため地域別診療報酬の設定
	都道府県に民間の病床機能転換命令の権限を付与
子育て	急性期病床の削減
	高額な新薬を保険適用から除外
	要介護1・2の生活援助サービスを保険給付外し
	訪問・通所介護など在宅サービスの総量規制の強化
子育て	介護老人保健施設、介護療養病床、介護医療院の多床室の室料相当額を自己負担に
	保育所・幼稚園などの給食費は無償化の対象外
	児童手当の所得制限強化で給付抑制
	保育所や幼稚園の施設型給付の公定価格引き下げ

荒川区政の各種情報・話題は…  
横山幸次区議のホームページで  
横山ニュースのバックナンバーも  
4年分PDFでご覧になれます。  
検索で「横山幸次」と入力して下さい。ご意見もお寄せ下さい。



日本共産党荒川区議会議員 区政報告  
**横山 幸次** ニュース

2018年12月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団

区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504  
E-mail: kouji.office@gmail.com

裏面には、受動喫煙防止条例と心疾患発症の関係(兵庫県)や今回の代表質問のトピックス 生活・法律相談案内など

**健康問題を考える...**

# 荒川区に「受動喫煙防止条例」を「生涯健康都市」実現の一步として

副流煙は主流煙に比べてこんなに害があります



荒川区ホームページから  
(健康づくりのページ)

神戸市における兵庫県受動喫煙防止条例施行後の心疾患関係調査

	急性心疾患患者数
条例制定前	895人
施行後1年	830人
施行後2年	792人



神戸市と尼崎市の県条例徹底状況

	条例の認識	全面禁煙店
神戸市	58.1%	31.7%
尼崎市	45.5%	13.4%

兵庫県で受動喫煙防止条例で心疾患減の調査結果  
やはり例外なき「全面禁煙」が必要ではないでしょうか！

荒川区は、生涯健康都市宣言を行い「まちをあげて健康づくりを進める環境を整える」としています。また、区としても平均寿命の延伸などを政策目標とし、ホームページでも「たばこの煙で困らないまちづくりを目指しています」と宣言

ところが、一番問題の受動喫煙防止対策は、遅れています。そんな折、東京新聞の11月15日付に「受動喫煙防止条例で心疾患減」「兵庫県 国内初調査」の見出しを目にしました。さつ

## 「大部屋が満床」では差額ベッド料請求できません こうした差額ベッド3原則を区報でお知らせを約束

入院時の差額ベッド代は、不安の一つ。厚生労働省は今年3月5日の新通知で、差額ベッド料を求めてはならない場合として「同意書をとっていない」「治療上の必要」により入院させる病棟管理の必要性など実質的に患者の選択によらない場合の3ケースをあげ、各ケースに該当する具体例を示しています。



例えば、の具体例として大部屋が満床であるために差額代のあるベッドに入院させた患者の場合「他の部屋が満室」という理由では請求できないことを初めて盛り込みました。希望しないときは同意書へのサインを保留し、病院と話し合う「大部屋がいっぱい」という理由では請求できない個室などに入ると言われたら「治療上必要か」とたずねることを患者や家族が知っておくことが大事です。

「大部屋がいっぱい」という理由では請求できないなど差額ベッド料について知っておきたい3カ条を区民に広報すること求め、区もホームページでお知らせすると約束しました。

よく兵庫県受動喫煙防止対策検討委員会のサイトから資料を入手。兵庫県の受動喫煙防止条例は、教育・保育施設・官公庁・病院の禁煙、一方飲食店は、施行後一定期間・分煙可としています。しかし東京都の条例が、飲食店原則禁煙としている(84%該当)より甘い規定です。

こうした中、今回の兵庫県は、条例施行前とその後の2年間の急性心疾患の発症件数について神戸市、尼崎市など調査しました。その結果、神戸市では、この3年間に急性心疾患の患者が1割減少していることがわかり

ました(上表参照)。そこには、県条例「受動喫煙防止の徹底状況の差があることが明らかになりました。神戸市では、完全禁煙店が3割以上で、さらに条例の順守率も97%、他の地域は平均が88%のようです。県条例の徹底の差が表れているとの考えを示しています。

荒川区での具体的行動を  
受動喫煙を原因とする国内の死亡者は毎年1万5千人、交通事故死の4倍です(国立がん研究センター発表)。日本共産党区議団は、公衆が集まる場所の屋内全面禁煙、医療機関や学校の敷地内禁煙等を定めた区条例制定を求めていきます。みなさんご意見をお寄せください。

西尾久区立生活実習所(希望の家)は、18歳以上の知的障害者を対象に、生活・作業指導など社会参加の事業を行っています。同じ建物に、区立西尾久高齢者通所サービスセンターを併設。今回は、9カ所ある区立通所サービスセンターの利用者減など理由に、廃止を含めた計画を発表。今回いちはん利用率の高い西尾久通所サービスセンターを再来年に廃止、その部分を生活実習所の拡張に使うとしています。以前から生活実習所の利用者が増え、手狭になり、新設を含めた対応が必要なのは、わかっています。高齢者部分を廃止し、そこを生活実習所にする案

**まちの話題あれこれ(番外編)**

西尾久の生活実習所と区立高齢者通所サービスセンターの廃止が提案されていますが、なんとお釈然としませんが、拙速でなく慎重な対応を求めたいと思います。(横山幸次)



くらし、子育て、介護、雇用...まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター  
(横山幸次区議事務所)  
荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504  
メール: kouji.office@gmail.com

**定例法律相談**  
毎月第1月曜・午後6時~8時  
横山幸次区議事務所  
来年は1月7日(月)です

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークを  
もっています...いつでもご相談を  
「定例法律相談」は月一回開催。くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。